

大地震が発生したら？

安全な帰宅のために

職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるとき、大規模な災害が発生すると、自宅に帰ることが困難になる人が多数発生することが予想されます。

しかし、災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなるばかりでなく、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり大変危険です。

災害発生時には「むやみに移動を開始しない！」

- まずは自分の身の安全を確保しましょう。
- 職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- 災害用伝言サービスにより家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

安全な帰宅のために

- 携帯ラジオや地図を持ち歩きましょう。
- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食糧などを用意しておきましょう。
- 事前に家族などと発災時の安否確認の方法や集合場所を家族で話し合っておきましょう。
- 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておきましょう。
- コンビニやガソリンスタンドなどを確認しておきましょう。（千葉県や九都県市ではコンビニやガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援協定を締結しており、下記のステッカーが貼られています。ステッカーが貼られている店舗等では水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。）

※ 徒歩帰宅支援協定が締結されていない（ステッカーが貼られていない）コンビニ及びガソリンスタンド等は対象となりません。

コンビニエンスストア等



ガソリンスタンド

